

教育基本法（2条）との関連

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体例 |
| 幅広い知識と教養を身に付け，真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな身体を養うこと。（1号） | * 真理を求める態度を養い，豊かな情操と道徳心を培い，健やかな身体を養う心が育つように，巻頭導入教材を設け，1年間の学習の進め方を示しました。
 | * 「道徳の授業はこんな時間に」

（1～3年p.3～6） |
| * 幅広い知識と教養を身に付けることを目的のひとつとして，付録に，郷土を支える人物や伝統・文化，技術や産業などを紹介しました。
 | * 「郷土のことを考える」

（1年p.174～175，2～3年p.182～183） |
| 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。（2号） | * 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培うため，個性の尊重に関する教材を各学年に配置しました。
 | * 「自分の性格が大嫌い！」（1年p.20～23）
* 「私は十四歳」（2年p.52～55）
* 「ぼくにもこんな『よいところ』がある」

（3年p.35～39） |
| * 自主及び自律の精神を養うため，自主，自律に関する教材を，「いじめ問題対応ユニット」の1教材として各学年に配置しました。
 | * 「傍観者でいいのか」（1年p.27～29）
* 「あの子のランドセル」（2年p.26～29）
* 「ある日の午後から」（3年p.28～31）
 |
| * 職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うため，勤労について扱った教材を各学年に配置しました。
 | * 「新しいプライド」（1年p.48～51）
* 「震災の中で」（2年p.87～91）
* 「好きな仕事か安定かなやんでいる」

（3年p.81～83） |
| * 創造性を培うことが職業において大切であるということを学習するため，ロケットを作った町工場の話を教材化しました。
 | * 「『どうせ無理』という言葉に負けない」

（1年p.86～89） |
| 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。（3号） | * 正義と責任，自他の敬愛と協力を重んずるため，「いじめ」について考える「いじめ問題対応ユニット」を各学年に配置しました。
 | * 「いじめのない世界へ（1)(2）」

（1年p.24～34，2年p.22～31，3年p.24～34） |
| * 公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画するため，挨拶やボランティア活動等に関する教材を配置しました。
 | * 「朝市の『おはようございます』」

（1年p.14～16）* 「社会からの無言の賞賛を感じる感性」

（3年p.125～127） |
| * 男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずることを学習するため，学校を舞台に身近に起きそうな出来事を教材化し，生徒自身が考える場面を設定しました。
 | * 「班での出来事」（1年p.70～73）
* 「みんなでとんだ！」（2年p.82～86）
* 「埴生の宿」（3年p.101～105）
 |
| 生命を尊び，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うこと。（4号） | * 生命を尊ぶ心情を養うために，「いのち」について考えるユニット教材を各学年に配置しました。
 | * 「いのちを考える(1)(2)」

（1年p.56～65，2年p.130～143，3年p.66～75） |
| * 自然を大切にし，環境保全に寄与する態度を養うため，自然への畏敬や感謝を描いた教材を配置しました。
 | * 「火の島」（1年p.112～117）
* 「冬の使者『マガン』」（2年p.152～156）
* 「よみがえれ，日本海！」（3年p.120～124）
 |
| 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。（5号） | * 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国を愛する態度を養うため，日本の伝統と文化を紹介する教材を配置しました。
 | * 「古都の雅，菓子の心」（1年p.146～150）
* 「心でいただく伝統の味」（2年p.66～69）
* 「花火と灯ろう流し」（3年p.54～57）
 |
| * 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養うため，郷土の伝統と文化を紹介する教材を配置しました。
 | * 「ぼくのふるさと」（1年p.35～37）
* 「祭りの夜」（2年p.56～60）
* 「島唄の心を伝えたい」（3年p.20～23）
 |
| * 他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため，国際的な問題に対してどのように行動するかを考えさせる教材を配置しました。
 | * 「日本から来たおばさん」（1年p.124～129）
* 「六千人の命のビザ」（2年p.94～101）
* 「その子の世界，私の世界」（3年p.144～151）
 |

学習指導要領との関連

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体例 |
| 学習指導要領に示されている目標との関連 |
| 道徳教育の目標に基づいて「道徳科」を行う。 | * 「道徳科」が道徳教育の要として機能するように，各学年30教材（35時間扱い）を配置し，更に付録に5教材を置くことで，補充，深化の役割が果たせるよう配慮しました。
 | * 「目次」（1～3年巻頭）参照
 |
| * 道徳教育相互の関連を考えて発展させたり統合させたりする役割を果たすため，各教材をテーマで分類するページを設けました。
 | * 「テーマでふり返ろう」

（1年p.176，2～3年p.184） |
| 道徳的諸価値についての理解を基にする。 | * どの内容項目をどの教材で学ぶことができるのかを明確にするため，内容項目別の一覧表を配置しました。
 | * 「1年間で学ぶこと」（1～3年p.8～9）
 |
| * ねらいとする内容項目がぶれないように，各教材冒頭にテーマを設定し，導入でテーマについて話し合う流れを作りました。
 | * 「目次」（1～3年p.1）参照
 |
| * 特定の内容項目だけに拘泥しすぎることがないように，複数の内容項目を設定した教材を配置しました。
 | * 「ふたつの心」（1年p.30～34）
* 「どんなことでも相談し合える仲間に」

（2年p.30～31）* 「いじめから目をそむけない」（3年p.32～34）
 |
| 自己を見つめ，物事を広い視野から多面的・多角的に考え，人間としての生き方についての考えを深める。 | * 自己を見つめるため，各学年巻末に自己評価用紙を用意しました。
 | * 「自分の学びをふり返ろう」

（1年p.177～181，2～3年p.185～189） |
| * 物事を広い視野から多面的・多角的に考えるため，一つの事象について友達と意見を交換し，問題解決を図る教材を配置しました。
 | * 「その人が本当に望んでいること」

（1年p.96～102）* 「人間の強さ・気高さ」（2年p.116～121）
* 「その子の世界，私の世界」（3年p.144～151）
 |
| * 人間としての生き方についての考えを深めるため，教材としてさまざまな人物を取り上げました。
 | * 「決断！ 骨髄バンク移植第一号」

（1年p.59～63）* 「赤土の中の真実」（2年p.102～105）
* 「背番号15が歩んだ道―黒田博樹」

（3年p.10～15） |
| 道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。 | * 道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度が育つ設問を用意し，教材ごとに道徳性が確実に養われるよう配慮しました。
 | * 「考えてみよう！」

（1～2年p.13，3年p.14，他多数） |
| * 道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てるための補助教具として，各学年巻末に心情円を用意し，考えたり思ったりしたことを可視化できるようにしました。
 | * 「心情円」（1～3年巻末）
 |
| その他学習指導要領との関連 |
| 児童が自ら振り返って成長を実感できるよう工夫されているか。また，評価への対応が工夫されているか。 | * 各学年冒頭の「道徳の授業はこんな時間に」において，学習の流れと振り返りのポイントを示しました。
 | * 「道徳の授業はこんな時間に」

（1～3年p.3～6） |
| * ポートフォリオとして学期や学年単位で学習を振り返ることができるように，各教材に「つぶやき」コーナーを設置し，考えたり思ったりしたことを書き込めるようにしました。
 | * 「つぶやき」

（1年p.13，2年p.12，3年p.14，他多数） |
| * 各学年巻末に切り取り式の自己評価用紙を用意し，名前と自己評価を書いて，学期ごとに提出できるようにしました。
 | * 「自分の学びをふり返ろう」

（1年p.177～181，2～3年p.185～189） |
| 自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実するよう工夫されているか。 | * 各学年巻頭に「話し合いの手引き」を配置し，話し合い活動を促すようにしました。折り込みを開いた状態でページをめくれば，全教材で参照できるページになります。
 | * 「話し合いの手引き」（1～3年p.3）
 |
| * 各教材に「つぶやき」コーナーを設置し，教材を読みながら考えたり思ったりしたことを書き込めるようにしました。書いたことは話し合いの材料としても使えます。
 | * 「つぶやき」

（1年p.13，2年p.12，3年p.14，他多数） |
| * 教材末の設問ごとに書き込み欄を設置し，自分の考えたことや友達の考えたことなどを書き込めるようにしました。
 | * 「傍観者でいいのか」設問（1年p.29）
* 「三つのいのちについて考える」設問

（2年p.142～143）* 「そのこ」設問（3年p.150）
 |
| 問題解決的な学習，道徳的行為に関する体験的な学習等ができるよう工夫されているか。 | * 全教材の冒頭にテーマを設定し，導入で問題を提起してから教材に入れるよう配慮しました。また，マンガの1～2コマを伴う教材は，導入の問題提起のための話し合い活動がより活発になります。
 | * 「友達とともに」（1年p.70）
* 「正義を追い求めて」（2年p.46）
* 「より高い目標を目指して」（3年p.90）
 |
| * 2時間扱いの問題解決的な学習を配置し，問題提起から解決を図る流れの中で，道徳的価値について考えることができるよう配慮しました。
 | * 「その人が本当に望んでいること」

（1年p.96～102）* 「人間の強さ・気高さ」（2年p.116～121）
* 「その子の世界，私の世界」（3年p.144～151）
 |
| * グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「アクション」として配置し，体験的な学習（役割演技）ができるよう配慮しました。
 | * 「もし，あのときにもどれるのならば」

（1年p.46～47）* 「お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう」（2年p.92～93）
* 「缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう」（3年p.88～89）
 |
| 家庭や地域社会との共通理解を深め，相互の連携が図れるよう工夫されているか。 | * 家族や地域社会を扱った教材を配置したり，各都道府県の伝統・文化などを紹介したりして，家庭や地域社会との連携を図りました。
 | * 「郷土を彫る」（1年p.108～111）
* 「郷土のことを考える」
* （1年p.174～175，2～3年p.182～183）
* 「背筋をのばして」（3年p.48～53）
 |
| 情報モラルに関して充実した指導ができるよう工夫されているか。 | * 各学年に情報モラルに関する教材を配置し，SNSでのいじめなど新しい情報モラルの問題を取り上げました。
 | * 「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」

（1年p.52～55）* 「ゴール」（2年p.32～35）
* 「合格通知」（3年p.106～109）
 |
| 現代的な課題などを題材とし，生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり，感動を覚えたりできるよう工夫されているか。 | * 喫緊の課題である「いじめ」や「いのち」について，それぞれ複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し，重点的に扱えるようにしました。
 | * 「いじめのない世界へ(1)(2)」

（1年p.24～34，2年p.22～31，3年p.24～34）* 「いのちを考える(1)(2)」

（1年p.56～65，2年p.130～143，3年p.66～75） |
| * 防災，キャリア教育，医療，環境，人権，国際理解，児童労働など，さまざまなテーマを設定して考えさせる教材を多数配置しました。
 | * 「決断！ 骨髄バンク移植第1号」

（1年p.59～63）* 「田老の生徒が伝えたもの」（2年p.70～73）
* 「その子の世界，私の世界」

（3年p.144～151） |
| 生徒の発達の段階に配慮して学習ができるよう工夫されているか。 | * 重点項目の設定において，1年は郷土の学習，2年は国の学習，3年は国際理解の学習をそれぞれ重点項目にするなど，段階を経て考える範囲が広がっていくよう配慮しました。
 | * 「郷土を彫る」（1年p.108～111）
* 「心でいただく伝統の味」（2年p.66～69）
* 「その子の世界，私の世界」（3年p.144～151）
 |

現代的な課題への対応

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体例 |
| 喫緊の課題である「いじめ問題」について対応した指導ができるよう工夫されているか。 | * 全学年に「いじめ問題対応ユニット」を配置し，複数教材を通していろいろな角度から，いじめ問題に向き合うことができるよう配慮しました。
 | * 「いじめのない世界へ(1)(2）」

（1年p.24～34，2年p.22～31，3年p.24～34） |
| * 1年生では，小学校の教室のイラストから，いじめの場面を考えさせたうえで，特に傍観者について取り上げられるよう配慮しました。
 |
| * 2年生では，絵本やマンガをもとに，いじめ問題について考えたうえで，リフレイミングの活動を取り入れ，寛容な心を養えるよう配慮しました。
 |
| * 3年生では，実際に中学生が行った「いじめサミット」を教材化し，中学生の目線で，いじめ問題を考えられるよう配慮しました。
 |
| 「いのち」の大切さについて考えることができるよう工夫されているか。 | * 全学年に「生命尊重ユニット」を配置し，複数教材を通していろいろな角度から，「いのち」の大切さについて考えられるよう配慮しました。
 | * 「いのちを考える(1)(2)」

（1年p.56～65，2年p.130～143，3年p.66～75） |
| 人権・福祉に関わる教育の観点から，どのような配慮がされているか。 | * 人権尊重についての認識を深めたり，考えさせたりする教材を充実させるとともに，人権・福祉に関わる社会の働きを取り上げ，人権を尊重する態度を養えるよう配慮しました。
 | * 「楽寿号に乗って」（1年p.38～41）
* 「今度は私の番だ」（2年p.106～109）
* 「伝えたいことがある」（3年p.113～119）
 |
| 安全・防災について扱えるよう工夫されているか。 | * 各学年で，安全・防災について扱った教材と取り上げることで，発達段階に応じて安全・防災について考えが深められるよう配慮しました。
 | * 「山に来る資格がない」（1年p.42～47）
* 「田老の生徒が伝えたもの」（2年p.70～73）
* 「スマホに夢中」（3年p.62～65）
 |
| 国際理解・平和に対応した指導ができるよう工夫されているか。 | * 各学年で「国際理解，国際貢献」を扱った教材を取り上げ，他国を理解し，平和に貢献する態度を養えるよう配慮しました。
 | * 「日本から来たおばさん」（1年p.124～129）
* 「六千人の命のビザ」（2年p.94～101）
* 「その子の世界，私の世界」（3年p.144～151）
 |
| 食育について扱うことができるよう工夫されているか。 | * 日本の伝統・文化である和食を教材化し，箸の持ち方などを紹介することで，食育につなぐことができるよう配慮しました。
 | * 「心でいただく伝統の味」（2年p.66～69）
 |
| キャリア教育に対応した指導ができるよう工夫されているか。 | * 各学年で「勤労」を扱った教材を取り上げ，さまざまな仕事について考えられるよう配慮しました。
 | * 「新しいプライド」（1年p.48～51）
* 「震災の中で」（2年p.87～93）
* 「好きな仕事か安定かなやんでいる」

（3年p.81～83） |
| * 3年生の付録で，4人の職業を紹介したページを設けました。さまざまな職業を紹介したホームページ「あしたね」と連携して学習が進められるよう配慮しました。

https://ashitane.edutown.jp/ | * 「将来の姿をイメージしよう」（3年p.181）
 |
| 情報モラル教育に対応した指導ができるよう工夫されているか。 | * 各学年に情報モラルに関する教材を配置し，SNSでのいじめなど新しい情報モラルの問題を取り上げました。スマホの画面を配置するなどして分かりやすく工夫しました。
 | * 「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」

（1年p.52～55）* 「ゴール」（2年p.32～35）
* 「合格通知」（3年p.106～109）
 |
| オリンピック，パラリンピックに関する指導ができるよう工夫されているか。 | * オリンピックでは，リオデジャネイロオリンピックで銀メダルを獲得した男子陸上400mリレーの選手を，パラリンピックでは佐藤真海選手を，それぞれ教材化しました。
 | * 「全てがリオでかみ合った」（1年p.10～13）
* 「今度は私の番だ」（2年p.106～109）
 |
| NIEを取り入れた指導ができるよう工夫されているか。 | * 各学年で新聞記事を使った教材を取り上げ，NIEを取り入れた指導ができるよう配慮しました。
 | * 「ごみ箱をもっと増やして」（1年p.83～85）
* 「住みよい社会に」（2年p.18～21）
* 「好きな仕事か安定かなやんでいる」

（3年p.81～83） |

教育課程編成への配慮

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体例 |
| 学習指導要領に示された内容項目について，十分に学習できるよう，生徒の発達段階に即して適切な話題や題材が取り上げられているか。 | * 22の内容項目は全学年で全て扱うとともに，学年ごとに13の重点項目を設定し，重点項目については繰り返し学習できるよう配慮しました。
 | * 「1年間で学ぶこと」（1～3年p.8～9）参照
 |
| * 特に3年生では生命倫理や児童労働問題について考える教材を設定するなど，発達段階を考慮して話題を設定しました。
 | * 「人間の命とは―人間の命の尊さ・大切さを考える」（3年p.74～75）
* 「その子の世界，私の世界」（3年p.144～151）
 |
| 初等教育，高等教育との関連が適切に図られているか。 | * 小学校道徳の定番教材である「橋の上のおおかみ」を掲載し，小学校道徳との関連を図りました。
 | * 「橋の上のおおかみ」（1年p.173）
 |
| * 3年生に職業紹介ページを設けることで，生徒が中学校を卒業してから先の将来について考えられるよう配慮しました。
 | * 「将来の姿をイメージしよう」（3年p.181）
 |
| 各教科等との関連が適切に図られているか。 | * 各教科等と関連する教材を積極的に取り上げ，関連する教科マークを，教材冒頭の右下に配置しました。
 | * 「火の島」（1年p.112右下），他多数
 |

構成・配列・分量

|  |  |
| --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 |
| 教科書全体を通じて道徳性を養えるよう構成されているか。 | * 各学年の教科書を，オリエンテーション，本編，付録の3つで構成しました。オリエンテーションで道徳授業の基本的な流れを学習し，本編にスムーズに入れるよう配慮しました。また，付録で補充を図れるよう配慮しました。
 |
| 教材は，学習指導要領の内容をもれなく扱い，目標を達成できるよう構成・配列されているか。 | * 学習指導要領の内容をもれなく扱い，目標を達成できるよう，教材を適切に構成・配列しました。
 |
| 教材の配列は，生徒の発達に配慮するとともに，系統的に学習が展開できるよう配慮されているか。 | * 生徒の発達段階を踏まえた教材を用意しました。特に，全学年で「重点指導項目」として設定している内容項目については，繰り返し学習することで，発達段階に応じて系統的に理解を深めることができるようにしました。
 |
| 生徒の生活実態や体験活動に合わせ，効果的に指導ができるように配列が工夫されているか。 | * 生徒作文を，実際の行事の時期などを考慮して配列することで，効果的に指導ができるよう配慮しました。
 |
| 内容の程度，及び分量は適切か。 | * 各学年，本編で35時間分の教材を用意し，更に付録で5教材を用意することで，学校や教室の実態に合わせて柔軟な指導ができるよう配慮しました。
 |

指導上の配慮

|  |  |
| --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 |
| 学習意欲を喚起し，主体的・対話的で深い学びを促すための工夫がされているか。 | * 各学年のオリエンテーションで道徳の基本的な授業の流れを提示することで，本編の教材で，主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮しました。
 |
| * 生徒二人と先生，それに案内役のキャラクターを要所に配置し，学習の流れを案内するとともに，興味・関心を引き出すよう工夫しました。
 |
| 導入や振り返り，問題提起に必要な教材，学習の整理のための配慮などは，十分にされているか。 | * 各教材の導入にテーマを設定し，テーマに対応した設問を教材末の「考えてみよう！」に置くことで，一つのテーマで教材を一貫して扱えるよう構成しました。
 |
| * 各教材に「つぶやき」コーナーを設置し，生徒が考えたことや思ったことを自由に書き込んで，話し合いの際の材料として整理できるようにしました。
 |
| * 巻末に切り取り式の自己評価用紙を用意し，学期ごとに生徒が自己評価を行い，提出できるよう配慮しました。
 |

表記・表現

|  |  |
| --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 |
| 本文等の書体，大きさは，生徒の発達段階を考慮したものになっているか。 | * 一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを採用しました。また，中学生が読むことを考慮し，読みやすい大きさの文字にすることで，視認性を高めました。
 |
| 挿絵やレイアウトが工夫されているか。 | * 特に，「感動・畏敬の念」を扱う教材については写真を大きく掲載し，大自然の迫力が生徒に伝わるよう工夫しました。
 |
| 表記・表現は，生徒にとって親しみやすく，読みやすい配慮がされているか。 | * 中学生にとって難しい表現は避けて，なるべく分かりやすい表現を用いるよう配慮しました。
 |
| * 各学年でマンガ教材を取り上げ，中学生にとって親しみやすい口語体で教材を読み進めることができるよう配慮しました。
 |

造本・印刷

|  |  |
| --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 |
| 本文，絵図，写真などの印刷は鮮明で，製本は堅牢か。 | * 印刷は鮮明で，目に優しい色を基調としました。
 |
| * 表紙は強度の高い加工を施し，汚損しにくいよう配慮しました。
 |
| * 製本は強力な接着剤を用いた，あじろ綴じで，大きく紙面を開くことができるうえに堅牢です。
 |
| 環境やアレルギーに対して配慮されているか。 | * 環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど，環境やアレルギーに配慮しました。
 |
| 教科書の重量は，生徒の身体的な負担に配慮されているか。 | * 軽量で丈夫な用紙を用いることで，ワイドなAB判でありながら，重量的な負担を軽減するよう配慮しました。
 |
| 造本は生徒の感性に訴えかけるよう工夫されているか。 | * 各学年巻末に，切り取り式のホワイトボード用紙と心情円を用意しました。話し合いの活動の際に活用できるよう配慮しました。
 |

特別支援教育・ユニバーサルデザインの観点からの配慮

|  |  |
| --- | --- |
| 検討の観点 | 内容の特色 |
| 特別支援の観点から，教科書の内容を指示しやすいよう工夫されているか。 | * 本文に5行ごとに行番号を配置することで，教科書の内容を指示しやすいよう配慮しました。
 |
| 特別支援の観点から，教科書の内容を読み取りやすいよう工夫されているか。 | * 会話文や設問「考えてみよう！」の文は，文節での改行を行い，読み間違いが起きにくいよう配慮しました。
 |
| 色覚特性への配慮から表現が工夫されているか。 | * 色覚特性の専門家の協力を得て，全ページにわたって配色や色に関わる表現を点検しました。その結果，隣り合う色の区別がつきやすい配色にしたり，色の呼び方を文字で加えたりするなどの配慮をしました。
 |